

・市長ならびに特別職等の給与・報酬について

- (1) 2025 年度からの市長ならびに特別職・議員のそれぞれの報酬改定額の年額、ならびに総額、引上げ理由をご説明ください。
- (2) 全国の政令市で、2019 年度から 2024 年度までの 6 年間に市長・特別職等の報酬等改定を行った市、ならびにそれらの市のうち 2025 年も報酬等引上げを予定している市はありますか。
- (3) 止まらない物価高の中、苦しい市民生活を考慮するならば、報酬等審議会答申通りでなく、今回の報酬等引上げは見合わせるべきではないでしょうか。

・介護予防等について

- (1) 現在、介護保険会計に算入されている国の介護保険保険者努力支援交付金の 2025 年度予算額と、2024 年度交付額ならびにその活用状況をご説明ください。
- (2) 他の政令市で実施されている高齢者の補聴器購入助成制度の事業費をご紹介ください。
- (3) 国の介護保険保険者努力支援交付金の目的の中の「認知症総合支援の取組状況」に 2025 年度から新たに認知症の総合支援の一つとして難聴高齢者の早期発見、早期介入等の取り組みの評価指標が入りました。難聴高齢者の早期対応や普及啓発などの推進に取り組んでいる自治体に対し、交付金を充てます。山形市では、補聴器購入助成も含めた難聴高齢者への総合的事業である「聴こえくつきり事業」にこの交付金が充当されています。本市でも、こうした国の交付金を活用し、総合的な難聴高齢者対策や補聴器購入助成をぜひ実施していただけないでしょうか。

・地域コミュニティセンター運営経費について

- (1) 2025年度当初予算案・要求状況一覧の地域コミュニティセンター運営支援事業が、4897万5000円の要求額に対し、Dのゼロ査定でした。内容は、最低賃金改定によるコミセン職員の人件費上昇分の支援として昨年支給されたものです。現在、熊本の最低賃金・時給952円に対し、コミセンの賃金単価は993円です。昨年の最低賃金改定は前年対比で54円上がっており、2025年の改定では993円を超えると考えられ、ゼロ査定のままでは2025年度の予算不足も予想されますが、いかがお考えでしょうか。

・児童育成クラブについて

- (1) 2025年度までの入会児童数の年次推移をお示してください。
- (2) 現在80ヵ所ある児童育成クラブの入所児童数で、41人以上、そのうち61人以上のクラブ数・割合をお示してください。同じく児童一人当たりの専用区画面積で、1.64㎡以下、そのうち1.124㎡以下のクラブ数と割合をお示してください。
- (3) 国が示す参酌基準の1クラブの児童数、児童一人の専用面積、同じく本市の基準について、対比してご説明ください。
- (4) 入所児童数・専用面積ともに、熊本市の基準は、国の参酌基準に合わせたものへと改善すべきではないでしょうか。

・市長の海外視察について

- ① 2025年度予算における市長の海外出張の行先・スケジュール・訪問地別の出張の目的・招待の有無・随行まで含めた費用、航空機のビジネスクラス利用の有無についてご説明ください。
- ② 過去5年間の市長の海外視察の年度ごとの回数・日数・随行まで含めた費用・目的をお示しください。それらについて、経費の節減について検討されましたか。
- ② これまでの海外視察の成果を市政にどのように生かされてきたのでしょうか。